

商業科の学習にあたって

1. はじめに

商業科「課題研究」の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指します。

- (1) 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

この科目においては、ビジネスを適切に展開して企業の社会的責任を果たす視点を持ち、商業に関する基礎的・基本的な学習の上に立って、商業の各分野に関する課題を生徒が自ら設定し、主体的かつ協働的にその課題を探究し、課題の解決を図る実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展のため、ビジネスの展開について、組織の一員としての役割を果たすことができるようにすることをねらいとしています。

学習のしかた

基本的な学習リズムは「予習」「復習」「授業」に加え、「反復」することが大切です。このバランスを崩すことなく学習してください。

専門教科は、日頃の学習の積み重ねが必要で、欠席すると、重要点を聞き逃してしまうことになり、主にビジネスに関するコミュニケーション能力に差が生じることになりかねません。意欲的な姿勢で授業に臨んでください。

(予習・復習・授業)

教科書は、事前に本文を読み、ゴシックで表記されている語句の意味や、内容をよく確認し、その単元の主張していることをおさえましょう。

教科書に準拠している「副教材」を利用して、理解を深めましょう。

授業で学習した内容は、その日のうちにもう一度教科書の再読、学習ノート・板書ノートの確認などをしましょう。予習時に不明であった箇所を、授業で理解できたかどうか再確認しましょう。

授業では、「教科書」「副教材」を主に使用します。必要に応じてプリント等の補助教材を配付します。板書用のノートを準備し、併せてプリントのファイリングもしてください。

授業の最初と最後は、号令に従い「お願いします」「ありがとうございました」と礼をします。

2. 視聴覚教材の利用

単元ごとに、教室設置の電子黒板を利用した、視聴覚教材により、各項目の理解を深めます。

3. 副教材やノートについて

副教材は、授業の事前学習・事後学習・定期試験対策として活用し、学習状況の確認として提出を求めます。

板書用ノートについては、授業中における説明の記録や教員の指示による記録、配付されるプリントの貼付（ファイリング）などを行い、自分の試験対策用資料を作り上げましょう。これも、確認として提出を求めます。

4. 定期試験について

定期試験は、それまでの授業や提出課題で学習した内容をどれほど理解できているかの確認です。日頃の学習に加えて、特に試験発表後は、理解を深めることができていないところを再確認して放課後や家庭学習において補習しておくことが大切です。